

# ワーキンググループの設置 について

# ワーキンググループの設置について

◎浸水により様々な機関が影響を受けることが想定され、多様な観点からの事前防災行動の検討が必要

⇒円滑な検討のため、以下の2つのテーマ別のワーキンググループを設置(参加対象は防災業務の計画策定に携わる方)

WGグループ	討議項目(例)
交通ネットワーク WGグループ	<ul style="list-style-type: none"><li>○<u>交通ネットワーク</u>に関する地域の水害リスクは?</li><li>○地域の課題や解決のための関係者は?</li></ul> <p>【検討課題例】</p> <p>道路交通規制／鉄道運転中止判断／施設設備保全／利用者の避難誘導／安全確保のための周知／避難活動の協力</p>
住民避難 WGグループ	<ul style="list-style-type: none"><li>○<u>住民避難</u>、<u>要援護者避難</u>に関する地域の水害リスクは?</li><li>○地域の課題、解決のための関係者は?</li></ul> <p>【検討課題例】</p> <p>避難情報伝達／浸水避難所の開設中止や二次避難対策／福祉施設や病院等の要援護者の避難支援(バス移送等)／学校・大規模集客施設の避難対策／水防団等の安全退避 等</p>

# ワーキンググループの設置について

## ◆住民避難ネットワークWGの検討メンバー案

WG	検討メンバー(協議項目)の案
住民避難 WGグループ	<ul style="list-style-type: none"><li>◎長野市(総務部・消防局)</li><li>◎長野地方気象台</li><li>◎長野県(危機管理部・建設部)</li><li>◎長野市内自主防災組織、福祉施設、避難所 管理者(学校等)</li><li>◎中部電力(株)、長野都市ガス(株) ※氾濫時の停電等による避難所への影響</li><li>◎NTT東日本 ※広域避難時のエリアメールの活用 避難者の安否確認等に影響</li><li>◎千曲川河川事務所</li></ul>

# ワーキンググループの設置について

## ◆交通ネットワークWGの検討メンバー案

WG	区分	検討メンバー案
交通ネットワークWGグループ	交通・道路関係	◎北信越運輸局 ◎長野国道事務所 ◎長野県(危機管理部・建設部) ◎長野県警察本部 ◎東日本旅客鉄道(株) ◎東日本高速道路(株) ◎しなの鉄道(株) ◎長野電鉄(株) ◎アルピコ交通(株) ◎長野市建設部
	河川情報発信	◎千曲川河川事務所

# ワーキンググループの設置について

## ◆ワーキンググループ会議 H27～28にかけて4回程度開催

検討会	主な内容
第1回WG 会議	住民避難WGと交通ネットワークWGを同日に開催 【内容】 ①開催趣旨、ハザード設定、水害リスクの説明 ②既存の各機関が策定している防災計画に基づき 台風性強雨に伴う洪水氾濫に備えた事前防災行動の抽出 ③洪水氾濫を想定した場合の各参加機関の防災行動の抽出
第2回WG 会議	住民避難WGと交通ネットワークWGを同日に開催 【内容】 ①前回ワークショップ意見に基づきとりまとめた「 <b>タイムライン原案</b> 」説明 ②新たに抽出された防災行動について関係機関の連携の必要性確認 ③関係機関の意見調整とタイムライン原案の追加・修正
第3回WG 会議以降	平成28年度に新たに公表される予定の千曲川・犀川洪水浸水想定区域 図に基づき第2回WG会議でまとめたタイムラインの見直し

# ワーキンググループの設置について

## ■第1回ワーキンググループ討議の詳細

【検討の目的】 台風性強雨に伴う洪水氾濫に備えた事前防災行動の抽出

【検討の実施方法】:

①参加者は台風接近～氾濫発生までの必要な防災行動を意見交換

②「タイムライン様式」に、各機関の意見を書き込み

●必要な事前防災行動は何か？ ●いつ、だれがやるか？(リードタイムと実施主体を明確化)

参加者は、各々①誰が、②何を(事前防災行動)、③いつ、④連携する機関、④実施の際の課題を記入し、リードタイムを考慮し、適切な「いつ」の欄を選んで貼り付け。

## ■タイムライン様式への記入イメージ

### タイムライン様式(A1判)

いつ		何を・誰が
— 24H	氾濫注意水位	
— 12H	避難判断水位	
— 6H	氾濫危険水位	
— 0H	破堤・越水	

(記入例)

①誰が

長野市危機管理防災課

②何を(事前防災行動)

避難勧告の発令・伝達

③いつ

-6H(氾濫危険水位到達時)

④誰と(連携先の関係機関)

千曲川河川事務所

(氾濫時の被害想定等の助言)

⑤実施の際の課題

夜間の連絡体制等

# ワーキンググループの設置について

## ■第1回WGグループ討議の流れ

項目	内容	概ねの時間配分
1. はじめに (記録進行係より)	①ワークショップの流れ説明 ②参加者自己紹介	15分
2. タイムライン検討 (コンサル:進行) (参加者:フセン作業)	③想定ハザードや災害リスク等のおさらい ④事前防災行動等のフセン記入と貼り付け ア. 現行計画で定める防災行動の抽出 イ. 新規の事前防災行動の追加、 ウ. リードタイムの観点から防災行動の実施タイミングの検討 ⑤フセン貼り付け結果確認	60分
3. とりまとめ発表 (長野市担当者)	⑥各班で出た意見の概要を発表	15分

## ■第1回WGグループ討議の成果について

- ◎意見結果は事務局でタイムライン原案として取りまとめ、第2回WGグループ討議で再度、防災行動の過不足やリードタイムの確認・見直しを行い、必要な追加・修正を行う。
- ◎第2回WGグループ討議では、上記の各機関の意見調整と、すぐに実施可能な防災行動と、すぐには実施できないものの今後、検討を継続すべき防災行動を整理する。